



● 大通り景観づくり推進協議会 部会(伝馬町地区)の景観形成に関するワークショップを開催しました。

大通り景観づくり推進協議会 部会(伝馬町地区)においては、令和8年7月25日、29日に景観形成に関するワークショップを開催しました。今回の通信では、「ワークショップでいただいたご意見」などをご紹介します。

大通り景観づくり推進協議会部会(伝馬町地区)ワークショップの内容

伝馬町地区では、検討区域内の住民や事業者の皆様幅広い視点からご意見を頂き、検討を深めるためにワークショップ(以下、WSという。)を開催し、多くの皆様にご参加いただきました。

WSにおいては、伝馬町地区の景観の現状や課題、地域の資源などを説明した後、伝馬町地区の景観の良いところ、改善すべきところなどを説明し、多数のご意見を頂きました。

【ワークショップの様子】



【説明】



【ワークショップ(まとめ①)】



【ワークショップ(まとめ②)】

【主なご意見】

- ・ 今後、「外観などを変更する際に配慮してください。」のような努力義務的なルールになるのか？
⇒ 景観形成重点地区に指定されれば、努力義務の基準のほか、色彩基準等への適合が必要となる基準もある。どんなルールにするかについては、中身を含めて検討を進める。
- ・ 色彩基準は漠然としたものにならないか？
⇒ 明度と彩度を用いることで数値については明確化することが可能となる。
- ・ 色のルールは外壁のみに適用されるのか？また、青系は使用できないのか？
⇒ 外壁と屋根に適用されることになる。基調色以外にも一定の割合以下であれば使用できる。
- ・ 地域によって異なったルールとあったが、伝馬町地区だけの基準は作れるのか？
⇒ 伝馬町地区の特徴を踏まえた基準を作ることは可能となる。
- ・ イラストやコーポレートカラーなどが使えないのは広告する側からすると厳しいものがある。まちに企業が入ることが賑わい創出にも繋がるので規制が厳しすぎると離れてしまうのでは？
⇒ イラストやコーポレートカラーの取扱いも含めて既存の基準の見直し等も検討していく。

問い合わせ先 宇都宮市 都市整備部 景観みどり課 都市景観グループ
担当: 梁木(やなき), 村松
電話 028-632-2568 FAX 028-632-5421
Mail u55002100@city.utsunomiya.tochigi.jp

★ワークショップでの意見

①良いと思うところ ②良くないと思うところ ③どんな通りにしていきたいか

街中でありながらゴミが落ちていないところ

大通りなのに落ち着いた雰囲気がある

ゴミ置き場が整理されていない。汚い。モラルを守らずに何でも捨てる人がいる。

ゴミ出しの網が景観を損ねている。

「宇都宮らしさ」⇒「伝馬町らしさ」が理解できません。(何を目指しているのでしょうか)

特色ある文化・歴史ある伝馬町を好んでいる

町内会のまとまりが大通りをはさんでいるので、この町内会の集まりを変えないかと。

近所の人々が片付けているところもありますが、雑草が目立つ。

伝馬町屋台を始め、周辺にはお寺なども多く、町歩きができる

樹木が大きく見通しが悪い。

冬場の大通りは街路樹(とちの木)の枯葉が落ち汚い。

企業ビルやコインパーキングが多く、住人が少なく、行事を行うことが出来ない。参加することも出来ない。

ねずみ穴通りは近年車の通りが多く危険度が増している。

歩道の幅はある程度あるが、ウォークアブルな環境ではない。休憩スペースがない。

自転車通学の生徒が多く、歩道が危険な時がある。

朝、通学の自転車が多く、歩きづらい。

LRTが通るとUターンが出来なくなるのか。

景観が悪いという建物と古い汚れているものが多い。何年か1回は建物の塗替えをしないとダメな気がする。補助を出してほしい。

伝馬町の原形文化財である屋台を中心とした広場を作って人々が憩えるような緑多い場所にする。

栃木県重要文化財の彫刻屋台を特色としたい。(伝馬町屋台を件書きできるように)

街路樹をもっと充実させて欲しい。花壇の管理も含め増やして欲しい。

伝馬町4番には樹木が立っておりません。(1番〜3番には樹木が立っておりません)。もし、樹木を立てるなら統一していただきたいです。

空き家対策をしっかりとやってほしい。

LRTにより東武線と繋げていくことで宇都宮の発展は“大”と思う。

宇都宮市はビルの高さの規制がないので、高層ビルが建つと高層の基準を設定してください。

※特定の場所の意見は地図上に付箋を貼って下さい。